



高松総局

〒760-0018

高松市天神前2-1

☎ 087(833)4141

fax (831)5737

mail:takamatsu
@asahi.com購読のお申し込み
配達お問い合わせ0120-33-0843
(7:00~21:00)購読・配達のご用は
高 松 (837)2802
(816)5519

粟島に向けて飛び立つドローンを人々が見守る



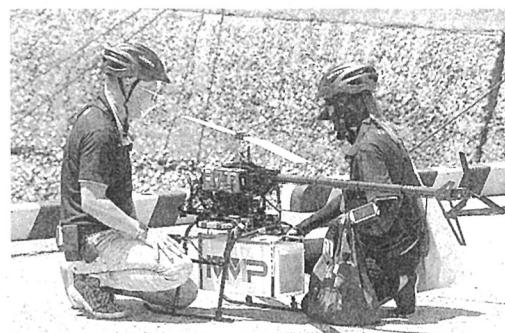
離島へ薬 ドローンで実験

病院のない離島にドローンで薬を配達する。そんな仕組みづくりを目指す飛行実験が7月末、三豊市詫間町須田港であった。小さな箱を取り付けたドローン（全長約1.5m）が、沖合約4キロの瀬戸内海の粟島に向けて飛び立った。数分後、島にドローンが無事着陸したことが無線で伝えられると、港では拍手が起きた。ドローンは再び海上を飛び、港に戻った。

実験をしたのは、高松市のベンチャーエンタープライズ「かもめや」。数年前から香川大瀬戸内圏研究センターの原量宏特任教授(76)らと、離島の遠隔診療にドローンを使う研究を進めている。

原特任教授によると、県内の24の有人島のうち診療所のある離島はあるが、医師がいるのは週2日に限られる。離島ではテレビ電話での遠隔診療が数年前から実施されているが、薬品や診療機器も少なく、必要な時に素早くドローンで輸送できればと考えた。今後も実験を重ね、実用化を目指す。

原特任教授は「災害時の孤立した地域の医療にも役立つ。有人島の多い日本の遠隔医療のモデルケースになれば」と話している。(木下広大)



飛行前にドローンの様子をスタッフが確認する=いざれも7月30日、三豊市詫間町